

はじめに

環境省では平成18年12月に、熱、光、かおり、音といった感覚環境の新しい視点からまちづくりを推進するため、その基本的な方向、具体的な施策について取りまとめた「感覚環境の街作り報告書」を公表し、これに基づき、感覚環境のまちづくりに関連するシンポジウムの開催など、普及啓発活動等に努めてまいりました。

しかしながら、感覚環境のまちづくりの取り組みはまだまだ端緒についたばかりであり、「どのように取り組めばよいか分からない」といった声が多く寄せられているため、今般、請負先の社団法人国際環境研究協会に設置された「感覚環境のまちづくり事例集作成検討会（座長：花木啓祐氏）」においてご検討いただき、先進的な取り組み（ベストプラクティス）を集めた「感覚環境のまちづくり事例集」を取りまとめていただきました。

丹念な取材を通じて取りまとめられた事例を改めて眺めると、既に地域にある材料を感覚環境の視点から見直したものや、まちに新たな感覚環境の要素を取り込んだものなど、取り組みのプロセスは様々です。この事例集が新たに取り組みを開始される各地域の関係者の方々の参考になれば幸いです。

なお、感覚環境のまちづくりの推進に当たっては、平成20年3月に環境省が公表しました「いい感じのまちづくりテキスト／パンフレット」についても、併せてご活用いただきますようお願いいたします。

平成21年3月
環境省水・大気環境局大気生活環境室

感覚環境のまちづくり事例集作成検討会 委員名簿

座長 花木 啓祐 東京大学大学院工学系研究科 教授

片山 徹 社団法人海外環境協力センター 専務理事

一ノ瀬 俊明 独立行政法人国立環境研究所 上席研究員

井上 成 三菱地所株式会社都市計画事業室 副室長

山下 柚実 作家・五感生活研究所 代表

(順不同、敬称略)

本事例集の『『感覚環境のまちづくり』を訪ねて』は、同検討会委員の山下柚実氏に取材及び原稿執筆していただきました。

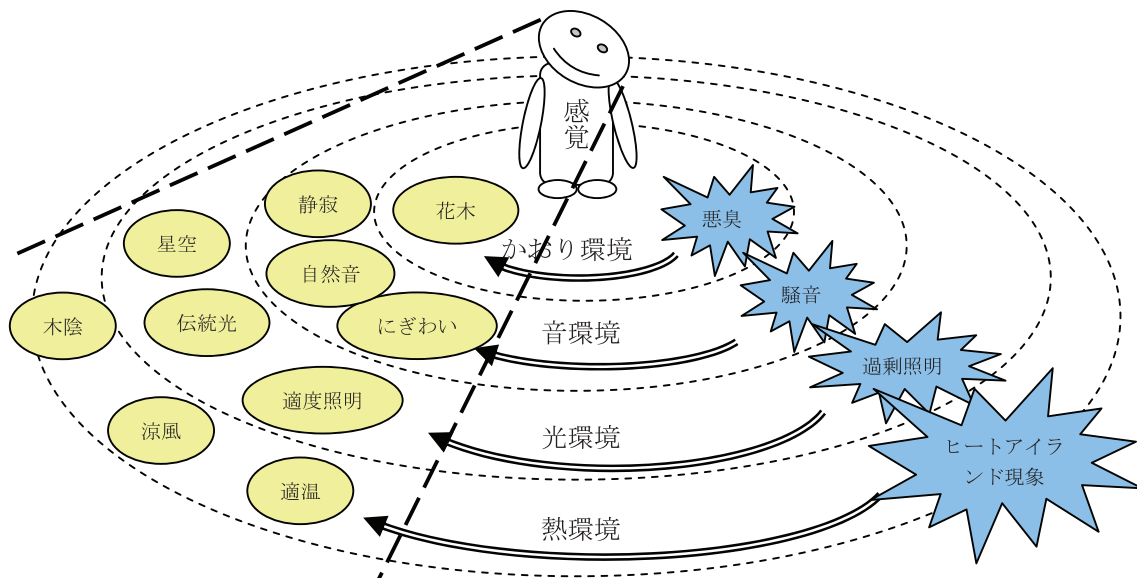
感覚環境のまちづくりとは？

感覚環境とは、熱、光、かおり、音といった人間が感覚を通じて感じる環境を意味する用語です。

まちの熱環境、光環境、かおり環境、音環境といった感覚環境は、そのまちの文化・個性・快適性を形作る重要な要素となっています。しかしながら、これまでの私たちは物質的にも豊かな社会を目指し、それを達成してきた一方で、私たちの生活は五感で体験できる場が少ない無機質なものとなってきたとともに、人々の生活の質に対する関心も高まってきています。

また、従来の環境対策は、水質汚濁、大気汚染などの公害対策といった問題対応型のものが中心でしたが、これらの問題が改善されてきた近年は、持続可能な社会の構築に向けたプロアクティブ（先を見越した）な環境政策が必要となっています。

このような背景から、市民の参加を得ながら、より良い感覚環境を取り込んで地域づくりを進めることが求められています。



各事例紹介の構成について

本事例集で取り上げた10事例は、以下の構成で取りまとめています。

○社会、自然、気候、風土、文化

その土地の背景情報のうち、取り組みについて知っていただく際に参考となる情報を簡潔にまとめました。

○概要

現地の取材レポートより、取り組みの概要、「感覚環境のまちづくり」から見た特色・魅力、今後の課題・展望等を抜粋してまとめました。

○レポート「感覚環境のまちづくりを訪ねて」

現地の取材レポートです。取り組みの主体を中心に取材を行い、取り組みの背景も含め、写真を交えて紹介しています。

○資料編

環境データ（気候、大気・水質・公害の状況）についてまとめました。

目 次

1. 奈良（奈良県奈良市）	1
「五感で楽しむ奈良」のまちづくり	
2. 松本（長野県松本市）	13
長野県松本市から学ぶ「かおりのまちづくり」	
3. 松江（島根県松江市）	23
湖沼環境を「五感」で体感する	
4. <small>だいまるゆう</small> 大丸有地区（東京都千代田区）／中之島地区（大阪府大阪市北区）	35
涼感あふれる都市空間づくり	
5. 浜松（静岡県浜松市）	53
「音・かおり・光環境創造条例」とまちづくり	
6. 京都（京都府京都市）	65
光を使った「まちづくり」の試み	
7. 郡上八幡（岐阜県郡上市）	77
名水と暮らすまちづくり	
8. 平野（大阪府大阪市平野区）	89
「音博物館」を生んだまちづくり	
9. 富良野（北海道富良野市）	101
レジャー施設依存の「まちづくり」から、自然のフィールドへ	
10. 彦根（滋賀県彦根市）	113
音や色、伝統文化を生かした「まちづくり」	
付録 残したい“日本の音風景100選”	125
かおり風景100選	126